

広島民報

2021年 5月16日 第2600号
発行所 広島民報社
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11/電話(082)228-4046
(昭和41年2月19日第三種郵便物認可)
1ヵ月 240円(送料126円)/1部 80円
郵便振替 01330-2-34778
© 広島民報社 2021年

第92回メーデー 広島県内4カ所で集会

昨年引き続きコロナ禍のメーデーとなった1日、県内では広島、福山、呉、尾道の各市で集会が開かれました。第92回広島県中央メーデーは広島市で約500人が参加し、1月の核兵器禁止条約の発効、4月の参院広島選挙区再選挙での野党統一候補の勝利を喜び、総選挙で政権交代を求め、自民党候補に代わって野党候補の共闘が大きな力を発揮した」と述べ、「コロナ危機から働く者の命と暮らしを守る政治を」きたるべき総選挙で政権交代を」と訴えました。

護憲もとめ 宣伝や集会

日本国憲法が施行されて74周年の3日、福山市の日本共産党の村井あけみ衆院広島7区候補と辻つねお県議、党市議団がJR福山駅前



メーデーのデモの先頭を行進する大平氏(先頭右) = 1日、広島市



憲法記念日に宣伝する辻県議(中央)、村井2区候補(その右)ら = 3日、福山市

参院広島選挙区再選挙の結果について

2021年4月26日 日本共産党広島県常任委員会

4月25日投票の参院広島選挙区再選挙について、日本共産党広島県常任委員会の声明は以下の通りです。

25日投票の参院広島選挙区再選挙は、野党統一候補の宮口治子氏が37万8600票(得票率48.36%)を獲得し、自民党候補に

てあいさつ。参院再選挙の結果について「市民と野党の共闘が大きな力を発揮した」と述べ、「コロナ危機から働く者の命と暮らしを守る政治を」きたるべき総選挙で政権交代を」と訴えました。



大平よしおの奮闘記

清々しい気持ちで晴れ渡る朝を迎えました。菅政権発足後、最初の国政選挙となった4月25日投票の3道県の衆参再選挙・補欠選挙はすべて市民と野党の統一候補が勝利。自民党は全敗、菅政権に痛烈なノーの審判が下されました。彼らが「こっちは勝てる」と踏んできた広島は、確かに前回の参院選比例票

3国政選挙すべて野党共闘が勝利

の予想をはるかに上回る大きな世論となって自民党・公明党を包囲しました。また核兵器禁止条約発効後初めての広島での国政選挙であり、「核兵器のない世界」の実現への被爆地としての強い願いもありました。「金権腐敗政治の

りました。自民党、公明党は物量作戦で組織戦を展開しましたが、県民の心をとらえることはできませんでした。河井事件の真相究明、被買収議員の責任をさらすに求めています。再選挙は、核兵器禁止条約が発効して最初の国政選挙でした。世界で唯一の戦争被爆国でありながら、条約に

地下水

「年年歳歳花相似」。唐代の詩人、劉希夷の作です。その通りに花は季節を違えることなく咲き、今年もまた向かいのお宅のバラが目を惹かせてくれました。わが家のアジサイもぼちぼち色づいていきます。でも、この詩の続きの「歳歳年年人不同」はどうでしょうか。人の世は移ろいやすいというのには、新型コロナウイルス感染症が国内でも一気に深刻化した1年前と同じように旅行はもちろん、外出さえはばかられる状況になっています。◆感染の第4波、3回目の緊急事態宣言と、何度も同じことの繰り返しです。「やっついているフリ」を競い合うだけの東京と大阪の知事は言うに及ばず、菅政権の無為無策、いや場当たり的対応には憤りが募るばかり。これこそまさに失政が招いた人災でしょう。◆このうえ、東京五輪を開催しようというのはいかに無謀。広島県が公道での聖火リレーを中止したのは当然で、今すぐ五輪自体の中止も政府に決断させるべきです。人々の命と暮らしを最優先にしない政治家には、総退場を突き付け